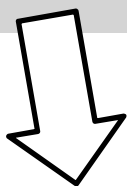
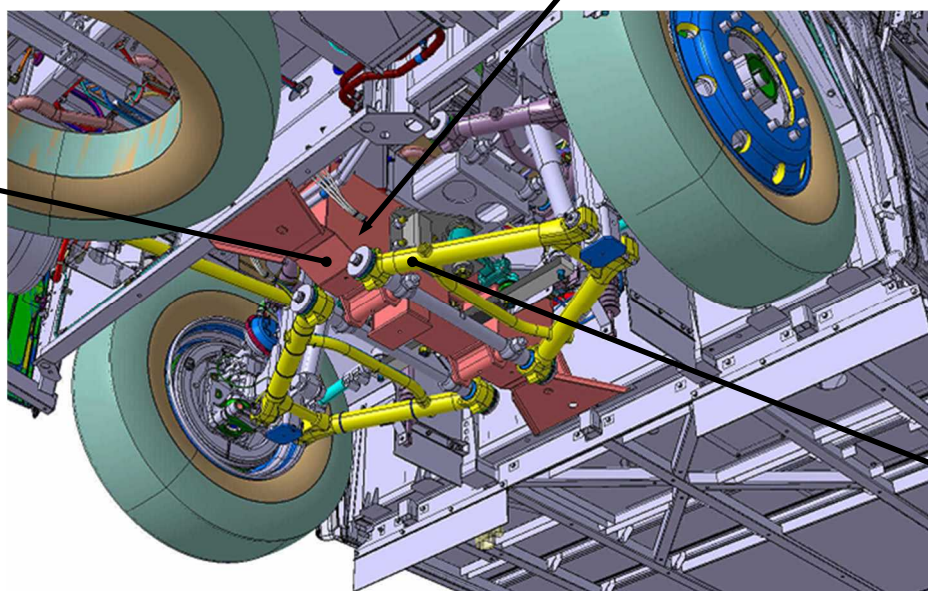


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

センターメンバー



ロアアーム

前輪独立懸架方式の大・中型バスにおいて、センターメンバーの製造が不適切なため、センターメンバー内部に融雪剤等を含んだ水が浸入し、ロアアーム取付部付近が腐食することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食が進行し、センターメンバーが破損して、最悪の場合、ロアアームが脱落して操舵不能となるおそれがある。

改善措置の内容

恒久措置の検討に時間を要することから、全車両、暫定措置としてセンターメンバーに内部点検用の穴を開け、内視鏡を用いて内部腐食状態の点検を行い、

- ①著しい腐食が認められた場合は改良品のセンターメンバーに交換する
- ②著しい腐食が認められなかった場合は防錆措置を実施する

なお、改良品の供給に時間を要することから、供給の準備でき次第、順次交換する。
また、早急に恒久措置を検討し、決定次第、速やかに恒久措置を実施する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB179」の文字が記載された白黄色のシールを貼り付ける。